

## 名古屋大学 物質科学国際研究センター 特任助教 公募

名古屋大学 物質科学国際研究センターでは、文部科学省 国際先導研究の推進に関わる特任助教を以下の要領で公募します。

記

【募集人員】 特任助教 3名程度

【所 属】 名古屋大学 物質科学国際研究センター

【専門分野】 有機合成化学・分子触媒科学・光触媒化学・ケミカルバイオロジー・無機合成化学・固体触媒化学・無機材料化学・理論/量子計算化学

### 【業務内容】

文部科学省 科学研究費補助金 国際先導研究(International Leading Research (ILR)) 「動的要素効果デザインによる未踏分子機能の探究(研究課題/領域番号: 22K21346)」プロジェクトに関する教育研究(プロジェクト代表者:名古屋大学 山口茂弘)を実施しています。

本国際先導研究概要URL:

[https://kaken.nii.ac.jp/ja/file/KAKENHI-PROJECT-22K21346/22K21346\\_saitaku\\_gaiyo\\_ja.pdf](https://kaken.nii.ac.jp/ja/file/KAKENHI-PROJECT-22K21346/22K21346_saitaku_gaiyo_ja.pdf)

本プロジェクトでは、名古屋大学の物質・生体機能の探究を基盤とする研究グループと、ドイツ・ミュンスター大学、スペイン・カタロニア化学研究所(およびイタリア・ポローニャ大学)、ドイツ・フランクフルト大学の研究者との国際共同研究により、革新的な化学触媒や生体触媒、物質機能や生体機能の設計と開発に取り組みます。

### 【求人内容】

本国際先導研究を推進する名古屋大学(トランスフォーマティブ生命分子研究所や理学・工学研究科)の研究室に所属し、上記の国外三大学の研究室との共創研究と一緒に推進できる特任助教(フルタイム)を募集します。具体的には、下記の研究実施項目を設定し、それらの枠組みのなかで採択者の経験や力量に応じて独自の研究テーマを柔軟に所属研究室で設定します。採用者は、国外各大学への長期出張(計2年程度)による在外共同研究を含めた研究に従事します。

- (1) 有機化学と光触媒化学の融合に基づく新しい合成化学の開発  
(大井貴史グループに所属)
- (2) 再生可能資源変換化学(CO<sub>2</sub>変換も含む)と光触媒化学の融合に基づく有機合成と人工光合成法の開発  
(斎藤進グループに所属)
- (3) 金属錯体化学や有機化学を基盤としたナノ空間材料(MOF, COF, HOF等)の開発  
(松田亮太郎グループに所属)
- (4) 生物有機化学と生化学/分子生物学の融合に基づく新規機能性核酸分子の開発  
(木村康明グループに所属)
- (5) 複雑系解明に向けた新しい量子化学計算法の開発もしくは応用研究

(柳井毅グループに所属)

**【応募資格】** 以下の条件を満たす研究者

- 1) 博士の学位を有する者, または2025年3月末日時点で取得見込みである者
- 2) 有機化学, 無機化学, 触媒化学, 錯体化学, 材料化学, ケミカルバイオロジー, 理論化学・量子計算化学, いずれかの研究に十分な経験を有すること
- 3) 専門分野外の研究にも積極的に取り組み国際共創研究や学際研究に取り組む意欲があること.

**【待遇等】**

任期(身分): 着任日から2029年3月末日

※雇用契約は年度毎に更新

**【給与等】**

- 1) 東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程に基づき支給
- 2) 本学給与規程に基づき, 通勤手当を支給. 支給要件あり.
- 3) 文部科学省共済組合, 厚生年金, 雇用保険, 労災保険に加入.

**【勤務時間】**

- 1) 8:30~17:15 を基本とした専門業務型裁量労働制適用(みなし労働時間は1日あたり7時間45分)
- 2) 有給休暇等: 年次有給休暇は本学規程に基づき付与. その他特別休暇有

**【着任時期】**

決定後, できるだけ早い時期

**【応募書類】**

以下1)~6)を日本語で作成の上, 提出してください.

- 1) 履歴書(顔写真添付, 任意形式)
- 2) 業績リスト(ポスター発表や口頭発表も含む)
- 3) 主要論文別刷(3編以内, コピー可)
- 4) 応募者が希望する名古屋大学の所属研究室(複数選択可)
- 5) これまでの研究概要と今後の研究提案(A4用紙で2枚程度)
- 6) 意見を伺える方2名の氏名, 所属, 連絡先

**【選考方法】**

書類選考の後, 選考通過者に面接審査を実施

**【応募書類の提出方法】**

上記の応募書類を一つのPDFファイルにまとめた上で, 電子メールに添付し, 以下の提出先に送信してください. その際, 件名を必ず「ILR・RCMS特任助教応募」としてください. なお, 応募書類受領後に受領通知のメールを送信しますので, 必ずご確認ください.

電子メールでの提出が困難な場合は、郵送による提出を受け付けます。郵送の場合は、「ILR・RCMS特任助教応募書類 在中」と朱書きの上、簡易書留又は配達記録郵便にて送付してください。

【応募書類の提出先及び問合せ先】

〒464-8602 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学 野依記念物質科学研究館 506号室 斎藤 進  
Tel: 052-789-5945 E-mail: saito.susumu.c4@f.mail.nagoya-u.ac.jp

【応募締切】 2024年12月28日(土) 適任者が決まり次第、募集を締め切ります。

【その他】

- 1) Online (Zoom) を使用して面接を実施する場合があります。
- 2) 応募書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。
- 3) 提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用しません。
- 4) 名古屋大学は、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献及び人物を含む)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
- 5) 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、下記の「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。

以下 URL より様式1をダウンロードのうえ提出してください。

[https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/facilities\\_use/files/](https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/facilities_use/files/)

※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail: anzen@aip.nagoya-u.ac.jp

6) 本国際先導研究を名古屋大学で推進する各研究グループの URL:

山口グループ: <https://orgreact.chem.nagoya-u.ac.jp>

大井グループ: <http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/labhp/organic3/index.html>

斎藤グループ: [http://noy.chem.nagoya-u.ac.jp/S\\_Saito-J/](http://noy.chem.nagoya-u.ac.jp/S_Saito-J/)

八木グループ: <https://synth.chem.nagoya-u.ac.jp/wordpress/staff/akikoyagi>

松田グループ: <http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/labhp/solid1/index.html>

荘司グループ：<https://bioinorg.chem.nagoya-u.ac.jp/index.html>

木村グループ：<http://biochemistry.chem.nagoya-u.ac.jp/members/#kimura>

柳井グループ：[https://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/ja/members/post\\_46/index.php](https://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/ja/members/post_46/index.php)